

DVE771

取扱説明書

◆接続のしかた - 応用編 -

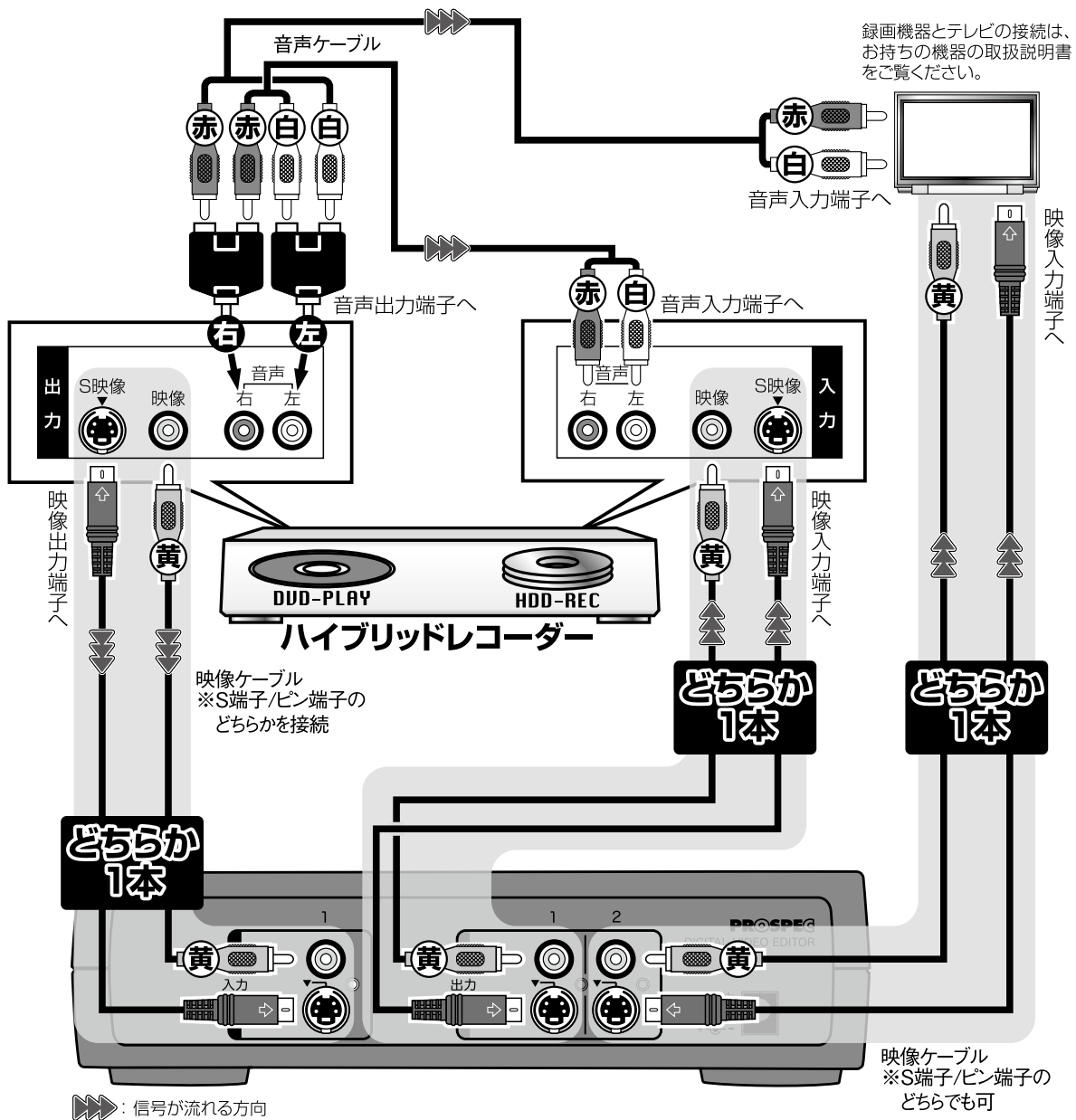
- ハイブリッドレコーダーへの接続 ————— 45～46
- プレイステーション2 / 3 への接続 ————— 47
- ビデオ入力端子のあるパソコンへの接続 ————— 48

接続のしかた - 応用編 -

■ ハイブリッドレコーダーへの接続

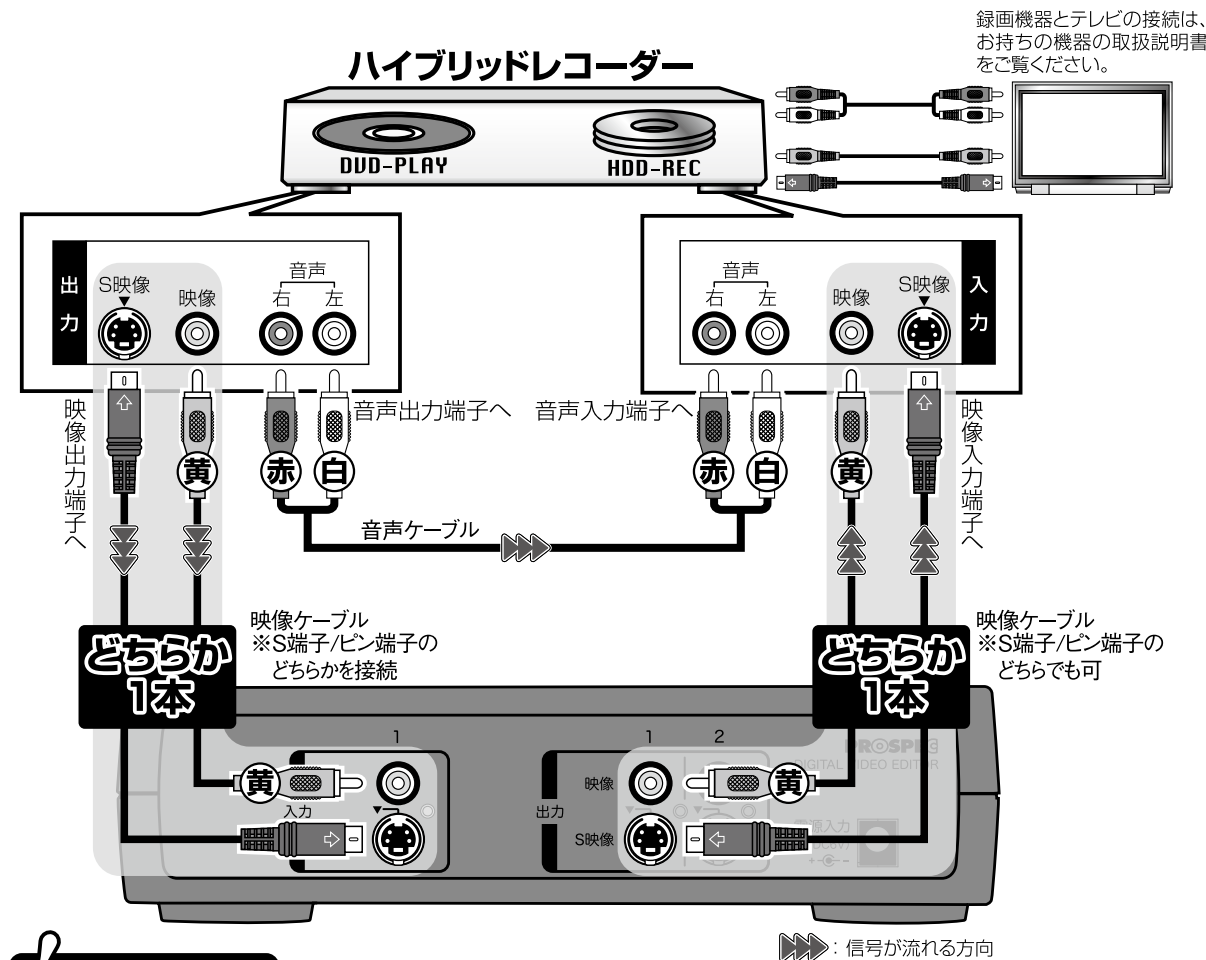
ハイブリッドレコーダー（HDD&DVD 一体型機など）1台のみでDVDを再生して、HDDに一度記録してからDVD-R/RW/RAMなどに記録できます。

◇ レコーダーにビデオ出力が1系統のみ装備されている場合



※ ハイブリッドレコーダー：ハードディスクとDVD など録画メディアが複数ある機器

◇ レコーダーにビデオ出力が2系統以上装備されている場合



！ ワンポイント

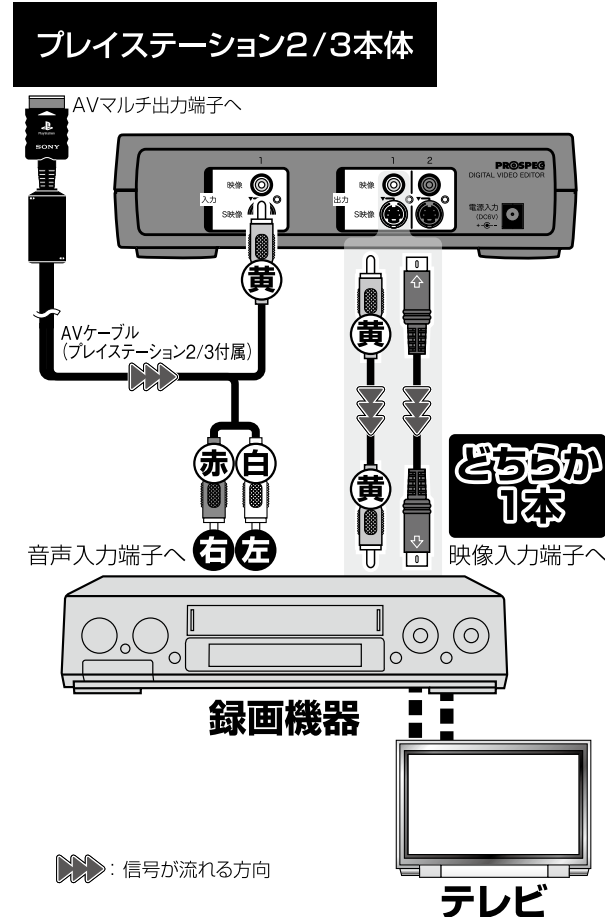
- 録画機器2台以上、または再生機器と録画機器をお持ちの場合は、「接続のしかた-基本編-」(P.39~44ページ)の接続によるご使用をお勧めします。
- 再生と録画を同時におこなえないハイブリッドレコーダーの場合、上記及び45ページの接続による使用はできません。再生機器または録画機器を別途1台用意して、「接続のしかた-基本編-」(P.41ページ)の方法で接続してください。
- 上記の方法で接続した場合、ハイブリッドレコーダーに接続しているテレビに映る映像はDVDの再生映像です。本機の回路を通した映像ではありません。本機の回路を通した映像を見る場合は、45ページの方法で接続してください。
- 編集方法は「ご使用方法-上級編-」(P.35~37ページ)をご覧ください。
- 外部出力及び外部入力の設定の切り替えは、ご使用のハイブリッドレコーダーの取扱説明書をご覧ください。
- 「ワンタッチ録画」「クイック録画」「高速ダビング」「U-LINEダビング」などはご使用になれません。 ※外部入力による等倍速ダビングとなります。
- 録画の前後はハウリングの影響で映像が乱れますが、本機の故障ではありません。

接続のしかた - 応用編 -

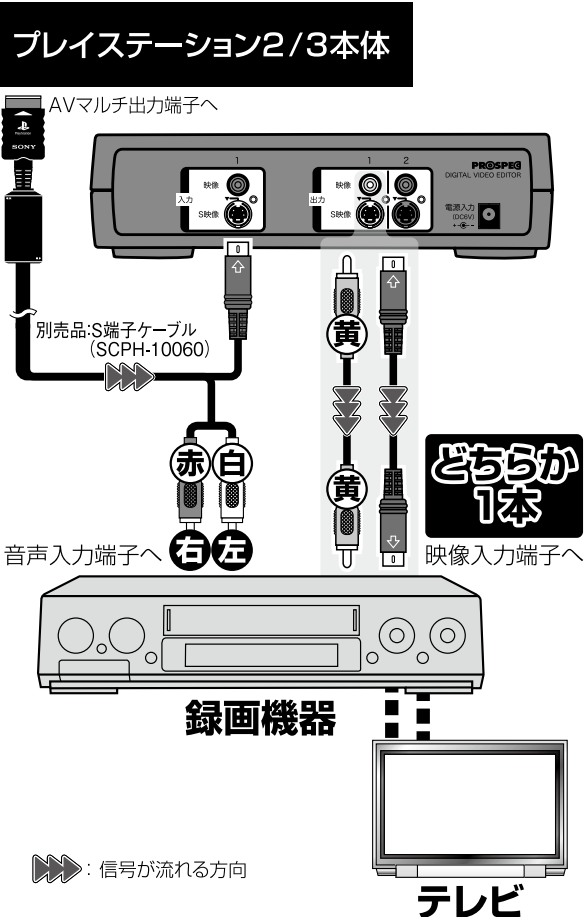
■ プレイステーション2/3への接続

プレイステーション2または3を再生機器として使用できます。(株)ソニー・コンピュータエンタテインメントより発売されているS端子ケーブル(SCPH-10060)を使用すると、より高画質な映像を楽しめます。お近くのソニー製品販売店などでお買い求めください。

プレイステーション2/3本体に付属のAVケーブルを使用する場合



S端子ケーブル (SCPH-10060)を使用する場合



(上図は「出力1」接続例)

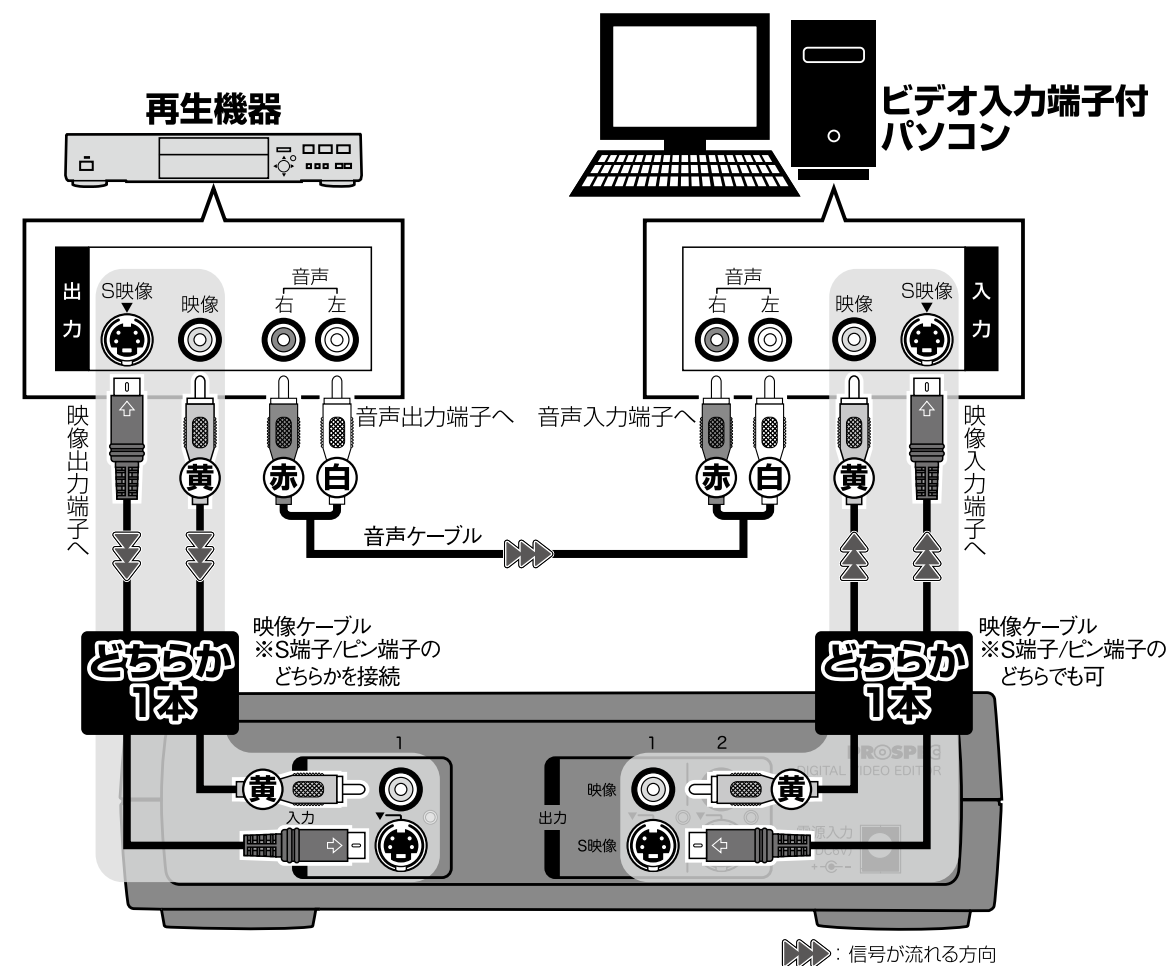
録画機器の接続方法は、お手持ちの機器の取扱説明書をご覧ください。

! ワンポイント

- 入力系統にS端子ケーブル/ピン端子ケーブルを両方同時に差し込んだ場合は、S端子ケーブル側の機器の電源の入切にかかわらず、S端子ケーブルが優先されます。
※本機の電源が入っている状態でケーブルの差し替えや追加接続をおこなうと、場合によっては接続ケーブルを正しく認識できません。よって接続ケーブルの追加や変更をおこなう際は、一度本機の電源をお切りください。
- プレイステーション2またはプレイステーション3は、株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの登録商標です。

■ ビデオ入力端子のあるパソコンへの接続

ビデオ入力端子を装備しているパソコンをお持ちの場合、本機で編集した映像/音声をパソコンに取り込むことができます。※別途編集用のソフトを必要とする場合があります。



(上図は「出力1」接続例)

●パソコン側の入力ジャックの形状によっては、ケーブルが上図のものと異なる場合があります。

! ワンポイント

- 入力系統にS端子ケーブル/ピン端子ケーブルを両方同時に差し込んだ場合は、S端子ケーブル側の機器の電源の入切にかかわらず、S端子ケーブルが優先されます。
※本機の電源が入っている状態でケーブルの差し替えや追加接続をおこなうと、場合によっては接続ケーブルを正しく認識できません。よって接続ケーブルの追加や変更をおこなう際は、一度本機の電源をお切りください。